

令和7年度 学校評価（自己評価）表 令和7年度中間評価との比較

対象		令和7年度末評価					令和7年度中間評価		R7末-R7中		令和6年度末評価		R7末-R6末	
		4(A)	3(B)	2(C)	1(D)	平均	平均	差	平均	差				
1	全	各教科、総合的な探究の時間、特別活動において、学校教育目標等との関連を明確にし、学校意識調査での前年度比の向上を図る。	2	10	0	0	3.17	3.13	0.04	3.00	0.17			
		あらゆる教育活動において、育成を図る資質・能力の向上を踏まえた指導・支援により、生徒の自律性・協働性を高める。	2	10	0	0	3.17							
3	学習指導	学校教育目標と各教科の目標を確実に紐付けし、育成を図る能力・態度の日常における意識化、学習ガイダンスの充実、情報端末の活用、主体的な学びにより、確かな学力の向上を図る。	4	8	0	0	3.33	3.13	0.13	3.03	0.22			
		学校意識調査、授業評価等により授業改善を図り、学ぶ意義を考えさせ、主体的に学び続ける姿勢・態度を育む。	3	8	1	0	3.17							
5	生徒指導	教育相談や学校意識調査等による生徒の実態把握、並びに情報共有、共通理解を図り、校内及び外部組織を活用しながら生徒指導・支援を行うことで、自己受容感、自己肯定感を高める。	2	10	0	0	3.17	2.88	0.08	2.92	0.04			
		校則見直し等において、他者と協議しながら自ら考え、選択し、決定する等の体験を通じ、自己指導力向上を図る。	0	9	3	0	2.75							
7	進路指導	各教科における教育活動、及び総合的な探究の時間の充実により、体系的なキャリア教育を行う。	2	9	1	0	3.08	3.19	3.25	▲0.06	3.13	0.07		
		生徒の実態や進路希望を踏まえ、きめ細かく組織的な指導・支援を行う。	4	8	0	0	3.33							
		「ふるさと教育」「キャリア教育」に基づいた、生徒の活動の記録を積み上げ、生徒に3年間の見通しを持たせながら、進路実現に向けた指導・支援を行う。	2	10	0	0	3.17							
10	健康安全	学校生活上の悩み等、生徒の状況を全教職員で情報共有し、きめ細かく配慮する。	6	5	1	0	3.42	3.19	0.14	3.29	0.04			
		自他の命の大切さや、他者への思いやりの心の育成を図る指導・支援を行う。	4	8	0	0	3.33							
		防災訓練(火災、地震・津波)や救急救命講習等を通して災害時、緊急時の対応能力を育成するとともに、安全の意識を高める。	3	9	0	0	3.25							
13	学信校頼づくれる	商業科の「社会の変化に対応できる職業人、地域の発展に貢献する職業人の育成」を目指す取組や、普通科の「大学進学をはじめ多様な進路希望の実現」を図る取組について、小中学校や外部機関との連携を推進する。	6	6	0	0	3.50	3.33	3.44	▲0.11	3.21	0.13		
		ふるさと教育や商業科の活動等を通じた生徒及び教員間の交流等を通じ、課題の共有や解決策の模索において、子どもの成長を系統的・連続的に見取っていく。	3	8	1	0	3.17							
		各教科の授業や課外活動等において、地域資源を活用した教育活動の充実を図るとともに、その成果についての情報発信を推進する。	5	6	1	0	3.33							
16	組織運営	学校教育目標等に紐づく教育活動を常態化し、教員一人ひとり学校経営参画意識、同僚性を醸成し、分掌・学年・教科等における業務の個における自律、全体における協働を推進する。	2	8	2	0	3.00	2.96	▲0.33	3.06	▲0.44			
		勤務時間を意識した働き方を推進し、効率的・効果的な業務の実現を、プロセスを重視して取り組む。	0	4	7	1	2.25							
18	教員研修	探究的な学びやICT活用に関する研修機会を増やし、教育の質を向上させる。	4	8	0	0	3.33	3.14	2.86	0.28	3.19	▲0.05		
		地域・企業・大学と連携した研修を実施し、地域社会の課題を理解する視点を養う。	4	7	1	0	3.25							
		面談を通じた教員の育成プログラムを充実させ、学校組織としての継続的な成長を促す。	1	8	3	0	2.83							
21	生徒の姿	生徒はマナーや身だしなみに対し、高い意識をもつことができるようになっている。	0	10	2	0	2.83	3.17	3.27	▲0.15	2.38	2.88	0.24	
		生徒は自己の在り方生き方について考えることができるようになっている。	1	11	0	0	3.08	3.08						
		生徒は職業観・勤労観をもつことができるようになっている。	1	11	0	0	3.08	3.00						
		生徒は進路希望の実現に向けて頑張ることができるようになっている。	3	8	1	0	3.17	3.25						
		生徒は薬物についての理解を深め、乱用の防止ができています。	4	8	0	0	3.33	3.83						
		生徒は生命の尊厳や人権について考えて行動できるようになっている。	2	10	0	0	3.17	3.42						
		生徒は正しい性の知識に基づいて健全な生活ができています。	2	10	0	0	3.17	3.17						

四段階で評価 4(A)達成された > 1(D)達成されなかった